同生力策省長的表質 自電路外に対する自み回来を イントロダクション 脳卒中患者さんが 自宅区戻りました ~生活期のことでお伝えしたいこと~ この他は、単生が他なななる信仰を展示される。ことでは代表して紹介されているです。

映像

内 容

イントロダクション

脳卒中患者さんが自宅に戻りました ~生活期のことでお伝えしたいこと~

ナレ イントロダクション 脳卒中患者さんが自宅に戻りました。生 活期のことでお伝えしたいこと

*左側の数字は、開始からの経過時間を示しています。



-0分30秒

医療ソーシャルワーカー

こんにちは。医療ソーシャルワーカーの佐藤です。

みなさん、脳卒中の治療やリハビリが順調に進んで、よかったですね。

それに、入院生活からも解放されて、日常生活に戻れることに なりました。



急性期の治療や回復期リハビリテーションなどの入院期間を経て、再スタートする日常生活の時期を、生活期と呼んでいます。

実は、この生活期がスタートすると、脳卒中を発症する前や入院中には、予想もしなかった事柄が見えてきて、不安になること、困ることが少なくないのです。

今回、そのような不安や困りごとが出てきた時に、ご一緒に、 それらを解決する方法を探っていきたいと思います。



具体的には、みなさんが、誰にどんなふうに相談すればいいか、 また、どのような支援を受けることができるのか、ということ です。



-1 分 45 秒

こちらは、浜田さんです。

浜田さんは、以前、脳卒中を発症されましたが、治療が進み、 現在は自宅で過ごしておられます。

浜田さんは、みなさんからみて、いわば、先輩の患者さんです。

浜田 こんにちは。浜田です。

映 像 内容



-2分05秒

医療ソーシャルワーカー

浜田さん、病院から自宅に戻って、生活期が始まる時、 どんなことが不安で、どんな困りごとがありましたか?



浜田 そうですね。

まず、脳卒中という病気のことです。

私、治療やリハビリテーションを受けながら、もう、脳卒中とは金輪際おさらばだ、と思っていたんです。でも違いました。 再発のおそれがあることを教えてもらって、その時は不安になりました。

医療ソーシャルワーカー なるほど。

浜田 それから、治療にお金もかかったし、働けない時期が続いたので、お金のことが大変でした。

医療ソーシャルワーカー お金の問題は大きいですね。他にはどうですか。

浜田 家族にあまり負担をかけず、自分なりの生活を維持していくこと、仕事のことに、しばらく不安がつきまといましたね。

医療ソーシャルワーカー

なるほど。それでは、今回は、今、浜田さんがおっしゃった、 3つの事柄について、お話を進めましょうか。

浜田 そうですね。それがいいと思います。

医療ソーシャルワーカー では、ここからは、浜田さん、よろしく。



浜田 え、私ですか?むちゃ振りですな。

それでは、病気、お金、生活の3つの事柄について、専門家の みなさんにお話いただきます。その内容は、どんなものかと いいますと……。



内 容

-3 分 45 秒

浜田(声)

第1話。脳卒中という病気とのつきあい方に関すること。

脳卒中の治療後、機能が回復する目途はどのくらいだろう? 後遺症はどうなるのだろう? 高次脳機能障害って何だろう、治るものなの?

失語症がある時、コミュニケーションはとれるのだろうか?

周りの人間はどのように対処すればいいのだろう? リハビリテーションはどうしてするのだろう? 仕事に戻るため、また、社会参加のためのリハビリテーション はあるのだろうか?

できるだけ「介護が必要にならないためのリハビリテーションはあるのだろうか?

脳卒中が再発しないためにはどうすればいいのだろうか? 薬はどうして飲み続けなければいけないのだろう? 合併症ってどんなものだろう? 合併症を見落とさないためにはどうすればいいのだろう?

-4分53秒

第2話。お金に関すること。

入院費用以外にどんな費用がかかるのだろう? 医療費や介護費としてどんな支援を受けられるのだろう? 経済的な支援を受けるためには何が必要なのだろう? 仕事を休んだために収入が減った場合はどうしたらいいのだろう?

住宅や車のローンが残っているけれど、どうしたらいいのだろうか?

子どもの学費も何とかしたいけれどどうしたらいいのだろうか?



内容

-5分36秒

第3話。これからの生活のこと。

身体機能や家族構成に合わせた住まいの環境整備はどのよう にすればいいだろう?

車の運転をしてもいいのだろうか? 友だち付き合いや旅行はオーケーだろうか? 妊娠や出産をしてもいいのだろうか?

家族になるべく負担をかけずに暮らすにはどうしたらいいの だろうか?

家族が介護で疲れないようにするにはどうしたらいいのだろうか?

若い人は介護保険は使えないけど、若者向けのリハビリテーションや社会参加の場はあるのだろうか?

学校や仕事に戻るにはどうしたらいいのだろうか? 障害があっても仕事はできるのだろうか? 脳卒中経験者の話を参考にしたいがどうすればいいのだろうか?

浜田 といった疑問や心配事に、答えていだたくわけですね。

医療ソーシャルワーカー その通り。ばっちりです。 浜田さん、ありがとうございました。

> それでは、みなさん、このあと、 第1話から第3話まで、ご覧になって下さい。







著作権:一般社団法人日本脳卒中学会-公益社団法人日本脳卒中協会